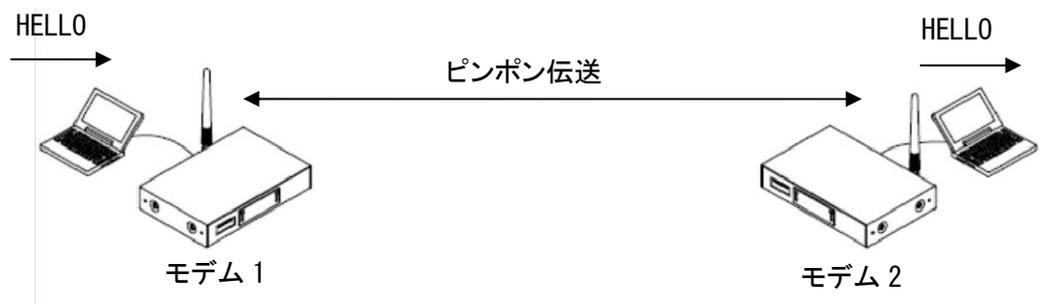


**データ透過モード（通信モード1）****1. システム構成**

送信するデータをフリーフォーマットで入力して、送信します。  
設定はスイッチのみで行い、1:1 通信のみ可能です。

**2. スイッチ設定**

- (1)ディップスイッチの SW No.8 を OFF にします。(スイッチ設定有効モード)
- (2)ディップスイッチの SW No.7 を一方のモデムは OFF(マスター)、他方を ON(スレーブ)にします。
- (3)ロータリースイッチを 0~9 の間で同じ値に設定します。(ホッピングボタン)

**3. 通信手順**

2 台のモデムの電源を投入すると、無線の接続処理が自動で行われます。  
接続が完了すると、LED の“C0”が緑点灯になり、通信が可能になります。

モデム 1 から、モデム 2 への通信

[モデム 1]> HELLO

[モデム 2]< HELLO

**《注意事項》**

- 送信データが有る／無しに関わらず、常に電波を出しています。(ピンポン伝送)
- LED はデータを入力していないときは、C0 が緑点灯、スレーブの PW が橙点灯で、それ以外は赤点灯になります。データ入力時は、送信側の SD が緑点灯して、送信が終わると赤点灯に戻ります。
- LED の C0 が赤点灯のときは、通信できません。
- メモリレジスタのパラメータは、初期値で動作します。(ディップスイッチで設定可能なもの以外)
- ダイバシティ受信はできません。
- フロー制御はソフトフロー or ハードフローのいずれかを選択する必要があります。フロー制御なしは設定不可です。
- ID コード(REG04, 05)を設定していても、初期値 0 での動作になり、異なった ID 同士でも通信します。
- シリアル線の伝送レート等は、ディップスイッチで変更可能です。
- コマンドヘッダは無効で、ブレイク信号によりコマンドを認識します。